

# Consolidated Business Results & Forecasts

## 2023年3月期 第3四半期決算説明会

2023年1月31日

株式会社SCREENホールディングス

内容：

- ・ 3Q累計 連結決算の概要 専務取締役（CFO） 近藤 洋一
- ・ 事業環境および業績予想 代表取締役 取締役社長（CEO） 廣江 敏朗

資料取り扱い上の注意

- ・ 本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
- ・ 本資料では、例えば、「FY2023/03」と示す場合、2022年4月1日～2023年3月31日の会計期間を表します。

# 3Q累計 連結決算の概要

2023年1月31日

---

株式会社SCREENホールディングス  
専務取締役 最高財務責任者 (CFO)

近藤 洋一

## 3Q累計 連結決算の概要

### 3Q累計 決算実績

- 全社>>
  - ・ 前年同期比増収増益、営業利益、当期純利益ともに1.4倍
  - ・ 売上、利益ともに3Q累計としては過去最高
    - 部材不足などのサプライチェーンの混乱、原材料価格高騰の中、想定通りの着地
- SPE>>
  - ・ 全社業績を大きく牽引。売上、営業利益（率）ともに3Q累計としては過去最高
  - ・ 営業利益率は20.6%
- GA、PE：売上、営業利益ともに順調推移
- BS：自己資本比率52.3%、ネットキャッシュ1,334億円

# FY2023/03 3Q 連結業績

前年同期比

(億円)	FY2022/03						FY2023/03					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計			
売上高	828	1,043	1,039	2,911	1,207	4,118	1,018	1,165	1,168	3,352	441	15.2%	
営業利益 営業利益率	86 10.5%	153 14.7%	160 15.5%	401 13.8%	211 17.5%	612 14.9%	178 17.5%	203 17.4%	184 15.8%	566 16.9%	164	41.1% 3.1pt	
経常利益	86	151	161	399	195	594	182	204	185	571	172	43.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	115	120	296	158	454	160	135	121	418	122	41.3%	

# FY2023/03 3Q 連結業績

前年同期比

(億円)	FY2022/03						FY2023/03					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計			
<b>売上高</b>	<b>828</b>	<b>1,043</b>	<b>1,039</b>	<b>2,911</b>	<b>1,207</b>	<b>4,118</b>	<b>1,018</b>	<b>1,165</b>	<b>1,168</b>	<b>3,352</b>	<b>441</b>	<b>15.2%</b>	
SPE	597	816	846	2,261	932	3,193	846	919	941	2,706	445	19.7%	
GA	96	112	99	309	123	433	105	116	120	342	33	10.8%	
FT	102	72	55	231	101	332	30	84	56	171	△59	△25.8%	
PE	23	34	33	92	40	133	33	42	47	123	31	34.2%	
その他および調整	8	5	2	17	8	25	2	2	2	7	△9	△56.7%	
<b>営業利益</b>	<b>86</b>	<b>153</b>	<b>160</b>	<b>401</b>	<b>211</b>	<b>612</b>	<b>178</b>	<b>203</b>	<b>184</b>	<b>566</b>	<b>164</b>	<b>41.1%</b>	
営業利益率	10.5%	14.7%	15.5%	13.8%	17.5%	14.9%	17.5%	17.4%	15.8%	16.9%	3.1pt		
SPE	88	154	171	414	214	628	188	195	173	557	143	34.7%	
GA	2	4	4	11	5	16	6	9	10	27	16	145.9%	
FT	2	△0	△3	△1	7	5	△8	△2	△0	△11	△9	-	
PE	2	7	6	15	5	20	4	11	10	25	10	67.6%	
その他および調整	△8	△10	△17	△37	△21	△58	△12	△10	△9	△32	4	-	
<b>経常利益</b>	<b>86</b>	<b>151</b>	<b>161</b>	<b>399</b>	<b>195</b>	<b>594</b>	<b>182</b>	<b>204</b>	<b>185</b>	<b>571</b>	<b>172</b>	<b>43.3%</b>	
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	115	120	296	158	454	160	135	121	418	122	41.3%	

■ SPE : 半導体製造装置事業     
 ■ GA : グラフィックアーツ機器事業  
■ FT : ディスプレー製造装置および成膜装置事業     
 ■ PE : プリント基板関連機器事業

# FY2023/03 3Q 連結業績

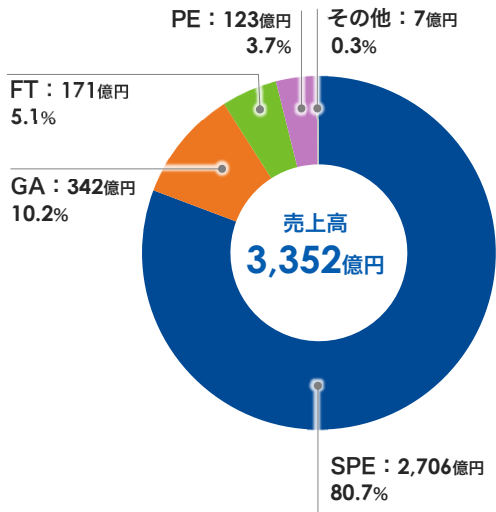
## セグメント別

■ 3Q累計、前年同期比 (YoY) □ 3Q、2Q比 (QoQ)

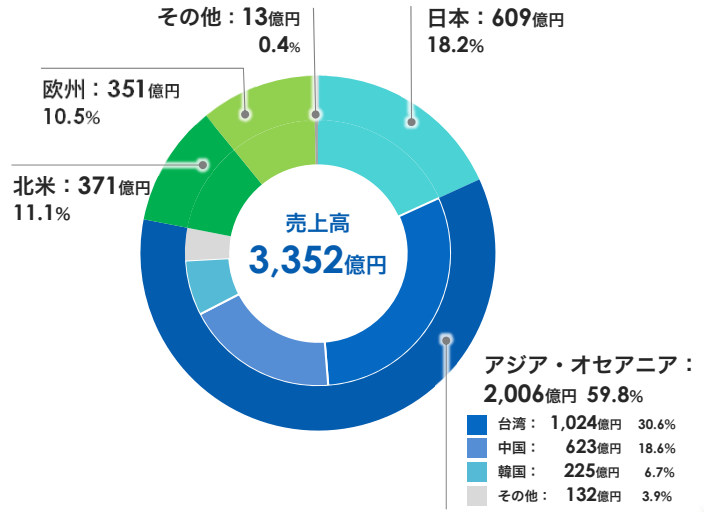
	(億円)	FY2022/03				FY2023/03				
		1Q	2Q	3Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計	
<b>SPE</b>	メモリー向けは減少したものの、ファウンドリー、ロジック向けが牽引し、増収増益 台湾、欧州向け売上が増加	売上	597	816	846	2,261	846	919	<b>941</b>	<b>2,706</b>
	台湾向け売上が増加、原材料価格高騰などにより採算性は悪化	営業利益 営業利益率	88 14.9%	154 18.9%	171 20.2%	414 18.3%	188 22.3%	195 21.3%	<b>173</b> <b>18.5%</b>	<b>557</b> <b>20.6%</b>
<b>GA</b>	PODなどの装置、リカーリングビジネス (RB) とともに堅調に推移、増収増益	売上	96	112	99	309	105	116	<b>120</b>	<b>342</b>
	堅調維持、利益率も改善	営業利益 営業利益率	2 2.7%	4 3.6%	4 4.3%	11 3.6%	6 6.4%	9 8.2%	<b>10</b> <b>9.0%</b>	<b>27</b> <b>7.9%</b>
<b>FT</b>	顧客の設備投資低迷を受け、売上、利益ともに減少	売上	102	72	55	231	30	84	<b>56</b>	<b>171</b>
	減収も、採算性改善により赤字幅減少	営業利益 営業利益率	2 2.2%	△0 △0.9%	△3 △5.5%	△1 △0.6%	△8 △27.0%	△2 △3.1%	<b>△0</b> <b>△0.8%</b>	<b>△11</b> <b>△6.6%</b>
<b>PE</b>	データセンター需要の拡大を受け、直接描画装置の売上、利益ともに増加	売上	23	34	33	92	33	42	<b>47</b>	<b>123</b>
	原材料価格高騰などにより採算性は悪化するも、利益率は20%台と高水準を維持	営業利益 営業利益率	2 9.0%	7 21.0%	6 17.8%	15 16.8%	4 14.0%	11 26.2%	<b>10</b> <b>21.1%</b>	<b>25</b> <b>20.9%</b>

# FY2023/03 3Q累計 連結業績

## セグメント別売上高

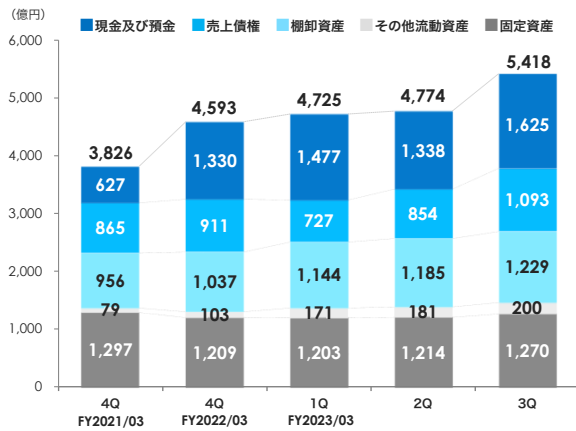


## 地域別売上高

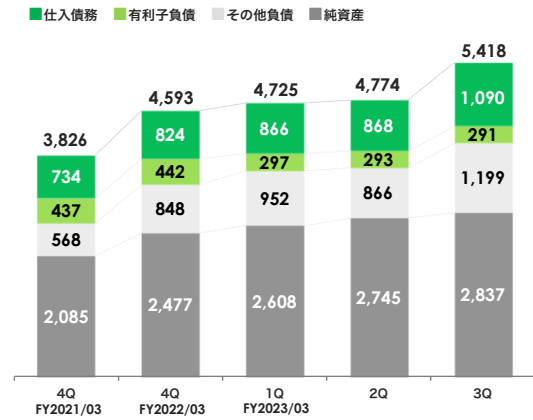


## 財務状況：連結貸借対照表

### 資産



### 負債および純資産



■ 自己資本比率は52.3% (FY2023/03 3Q)

■ 1,334億円のネットキャッシュ

●総資産：5,418億円となりました

●資産の部

- ・現金及び預金や棚卸資産が増加したことなどから、前年度末に比べ、825億円（18.0%）増加、5,418億円となりました

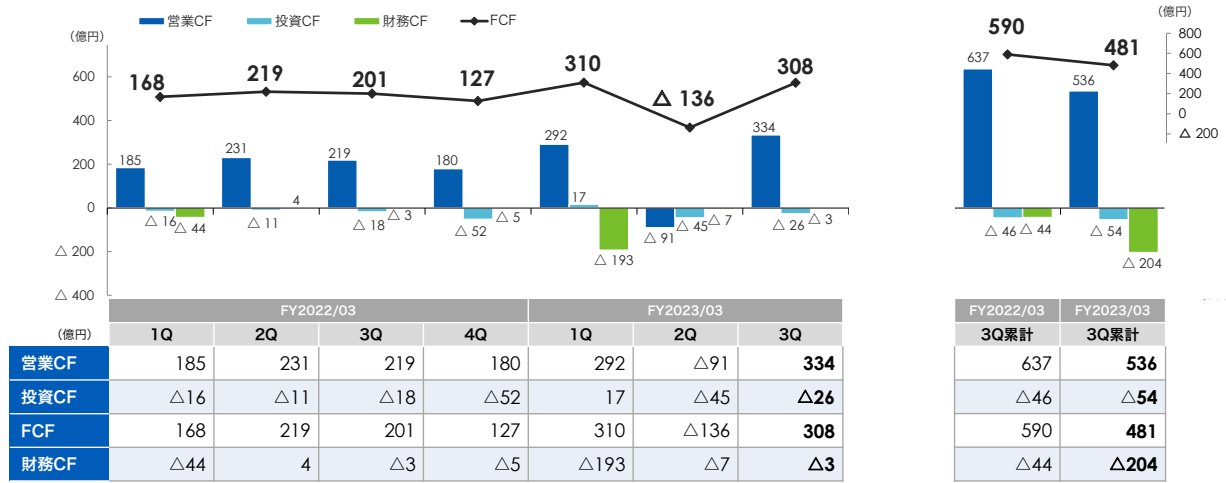
●負債および純資産の部

- ・負債は、転換社債型新株予約権付社債が減少した一方、仕入債務や契約負債が増加したことなどから、前年度末に比べ、466億円（22.1%）増加、2,581億円となりました
- ・純資産は、配当金の支払いの一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や転換社債型新株予約権付社債の転換による資本剰余金の増加や自己株式の減少などにより、前年度末に比べ、359億円（14.5%）増加、2,837億円となりました

●以上の結果、自己資本比率は52.3%でした



## 財務状況：連結キャッシュ・フロー

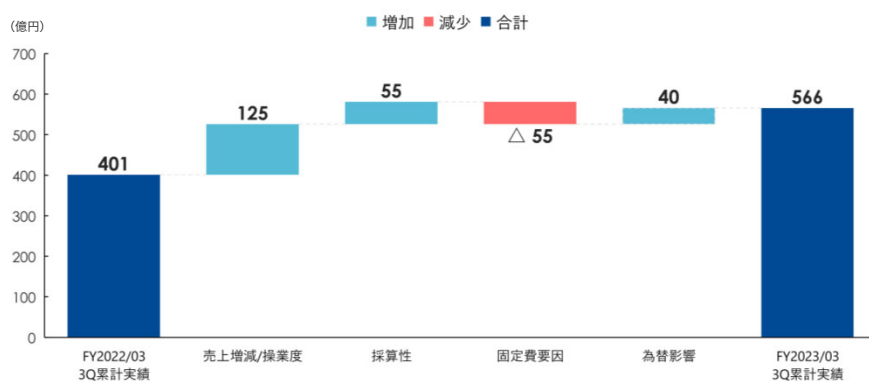


※ FCF：フリーキャッシュ・フロー

- 3Qの営業CFは、一時的に悪化した2Qより、大幅改善
- 3Q累計の営業CFは、棚卸資産や法人税等支払額の増加等により前年同期比減少も、堅調に推移

## 営業利益増減分析

### FY2022/03 3Q累計 vs FY2023/03 3Q累計



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

>>売上増減/操業度、採算性改善のほとんどがSPE

>>固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、業績連動賞与、研究開発費など）

>>為替は、SPE、GA、PEに影響

# 事業環境および業績予想

2023年1月31日

---

株式会社SCREENホールディングス  
代表取締役 取締役社長 最高経営責任者 (CEO)

廣江 敏朗

## 事業環境および業績予想

### ■ 事業環境

- SPE
  - ・メモリー向けは減少するも、ファウンドリー、ロジック中心に需要は旺盛
  - ・3Q累計としては、売上、営業利益、営業利益率、過去最高
  - ・3Q受注も想定通り、2Qを上回る高水準
- GA、PE：売上、営業利益ともに順調

### ■ 通期業績予想

- 通期予想は据え置き
  - 売上、営業利益（率）ともに過去最高を更新予定
- 持続的な成長に向け、  
設備投資、研究開発はいずれも過去最大

## セグメント別概況

SPE

### 市場動向および見通し

- WFE：2023年は前年比、15～20%程度の減少を見込む
  - ・ファウンドリー・ロジック：最終需要の調整から一部投資に減速はあるも堅調を維持
  - ・メモリー：投資減速からの回復タイミングを注視

- アプリケーション別の動向

ファウンドリー	最終需要調整の影響はあるも先端向けを中心に投資は着実に進捗
ロジック	投資タイミングの調整はあるも、全体的に投資は堅調
メモリー	投資抑制、減産からの回復時期を注視
画像素子	日本およびアジアでの投資が堅調に推移
パワーデバイス	欧州大手を中心に、日本・アジア・北米での投資も堅調に推移
その他	アナログ、センサー、光学、素材など堅調な投資が継続

- 中国市場：規制対象外の投資意欲は依然活発

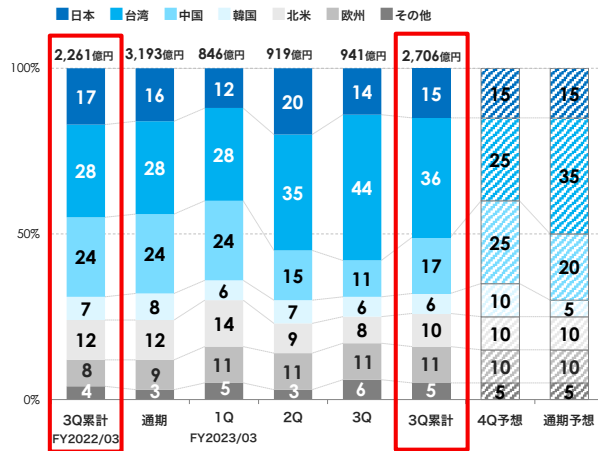
- ▶ 微細化に伴う洗浄ニーズが高まる最先端ノードから成熟ノードまで、多様なソリューションを提供
- >>生産・開発体制の強化を着実に推し進め、成長を続ける半導体市場の発展に貢献

SPE

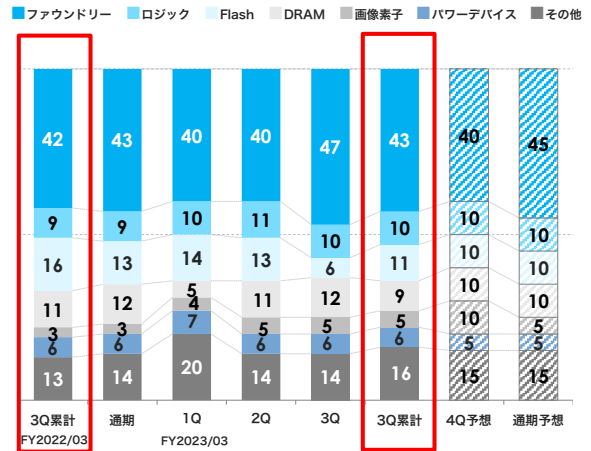
売上高比率>> 連結・地域別 / 単独・アプリケーション (デバイス) 別

SPE

■ 連結・地域別 - 仕向地ベース



■ 単独・アプリケーション (デバイス) 別



\*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記

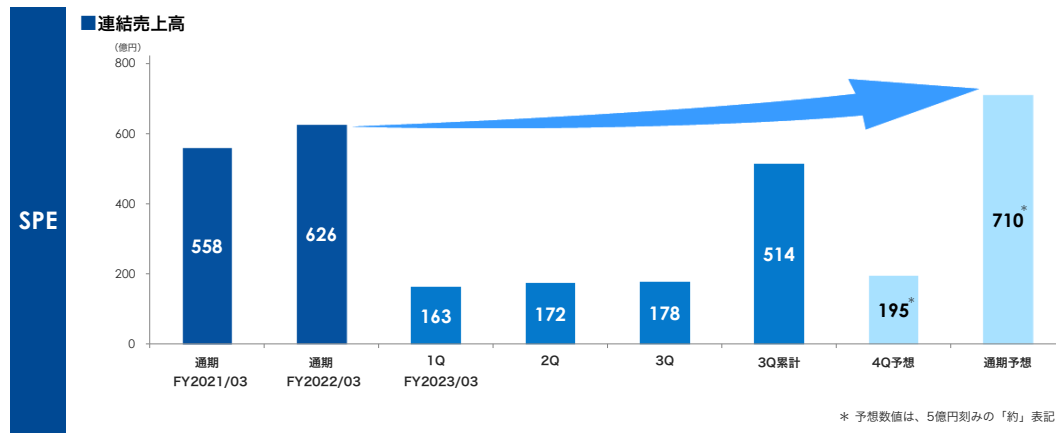
■ 地域別：3Q累計(YoY) 台湾大幅増、欧州も増。(QoQ)台湾で大幅増

■ アプリケーション別：3Q累計(YoY) ファウンドリー・ロジック堅調、その他で増加。(QoQ)ファウンドリー大幅増加

# セグメント別概況

SPE

## ■ ポストセールス (PS)



■ 3Q : 2Qより微増

■ 今後 : 顧客の改造実施時期のスライドにより、通期予想は前回予想比若干減

### ■枚葉式洗浄装置「SU-3400」をリリース (2022年12月から販売開始) <2022年12月7日>

#### 世界最高レベル<sup>※1</sup>の生産性と高い処理性能、環境負荷低減を同時に実現

- 優れた洗浄性能と安定したプロセス処理能力を併せ持つ、生産性の高い枚葉式洗浄装置<sup>※2</sup>へのニーズが高まっている一方、半導体業界では製造工程における環境負荷の低減が課題

#### 製品の特長

- ウエハー搬送機構の刷新により、装置面積当たりの生産量を大幅に向上。世界最高レベルの最大毎時1,200枚の実用処理能力を実現
- 新たなプラットフォームを採用し、洗浄処理チャンバーを小型化。6段タワー構造に改め、占有面積を30%削減
- 洗浄ノズルの改良と効率的な薬液循環システムの採用により、装置使用時の環境負荷 20%低減



SU-3400

※1 当社の標準処理条件に基づいて算出 (2022年12月現在)  
※2 ウエハーを1枚ずつ洗浄する装置

詳細は[こちら](#) (公式WEBページへ)

>>生産性を向上すると同時に、薬液使用量や排気流量の削減などにより環境負荷の低減も実現  
>>SUシリーズラインアップの拡充によりシェア拡大を目指すと共に、半導体産業の更なる成長に貢献



彦根事業所 S<sup>3</sup>-4操業開始、およびS<sup>3</sup>-5建設の着工



完成したS<sup>3</sup>-4



S<sup>3</sup>-5完成予定図

■ S<sup>3</sup>-4 (エス・キューブフォー)

- ・ 予定どおり、2023年1月から操業を開始
- ・ S<sup>3</sup>-4は、枚葉式洗浄装置「SUシリーズ」の主力工場 S<sup>3</sup>-3に連結し建設 → S<sup>3</sup>-3内の大型立体自動倉庫から自動搬送される部品から、ユニットや装置組み立て、出荷前洗浄に至る生産プロセスをシームレスに、従前よりさらに効率化し、SPEの生産能力は20%アップ

■ S<sup>3</sup>-5 (エス・キューブファイブ)

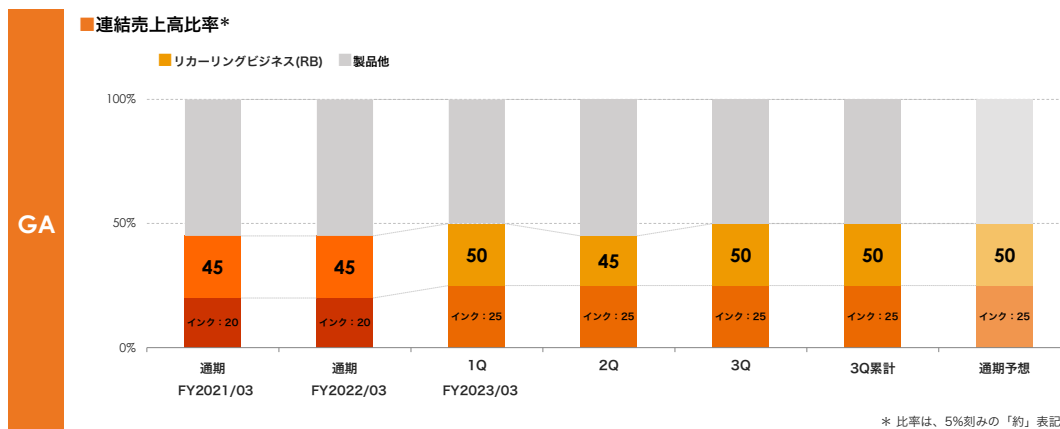
- ・ 中長期的な半導体需要拡大を念頭に2024年1月操業開始予定（2023年2月着工）。主力製品である枚葉式洗浄装置の生産などを行う（部品仕分け機能や装置・ユニットの組み立て機能を強化）
- ・ S<sup>3</sup>-3やS<sup>3</sup>-4と連結し建設。生産開始から出荷まで、従来に増して効率的な生産フローを実現。S<sup>3</sup>-5の稼働により、S<sup>3</sup>-4の稼働から更に20%生産能力アップ。S<sup>3</sup>-4・5トータルで、2022年比40%強の生産能力アップとなる

>>生産能力の強化によってさらなるシェア拡大を目指すとともに、収益性向上と競争力強化を図る  
>>省エネルギー対応のCR空調設備導入により、既存S<sup>3</sup>-1・2に比べ20%程度空調電力消費量を削減

# セグメント別概況

GA

リカーリングビジネスは引き続き高位安定。利益、回復基調が続く

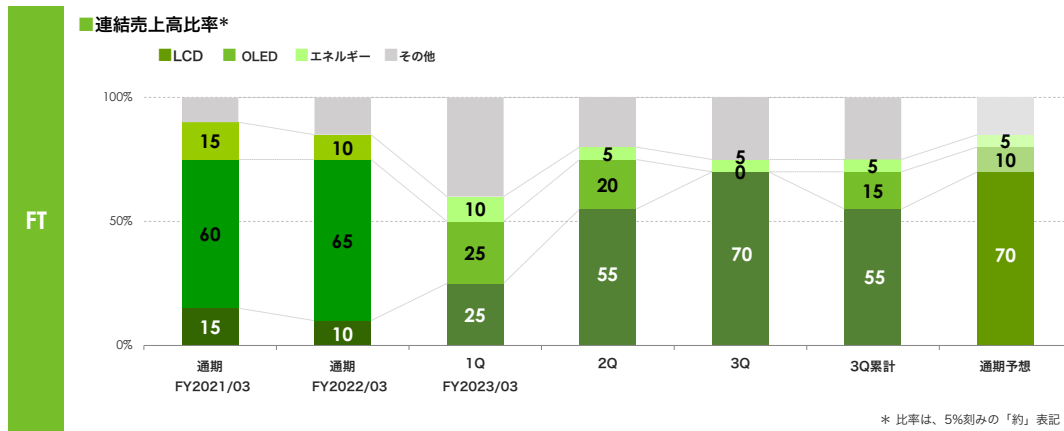


- インクを中心とするリカーリングビジネス (RB) は引き続き堅調
- 北米、欧州での旺盛なPOD需要に対応、生産キャパもアップ
- 為替影響の追い風も受けて、通期、営業利益は7%台維持を見込む

# セグメント別概況

FT

## 売上構成はLCD中心、収益改善策を展開

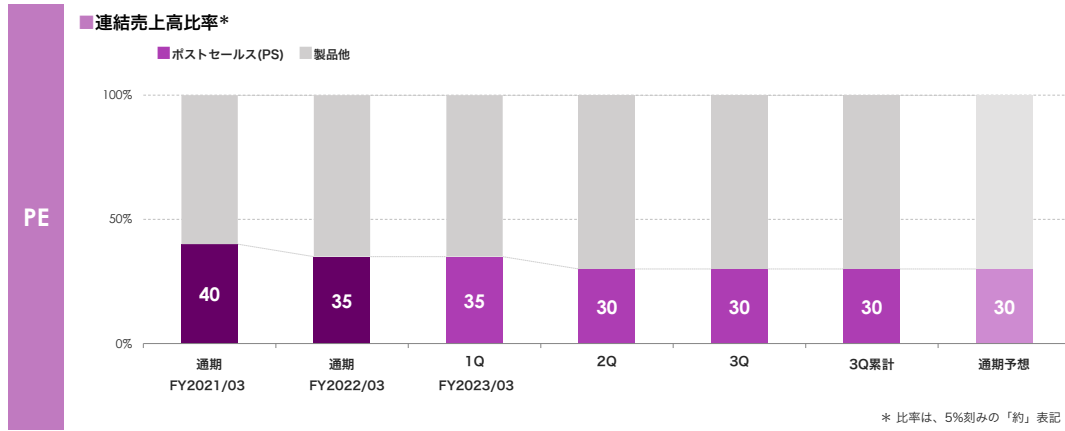


- 3Q、売上 (QoQ) は減少するも赤字幅縮小
- ディスプレー市場はCY2023も不透明な環境が続くと予想。今後のOLED向け投資を見据え、新製品を発売
- 引き続き、新規事業のエネルギー (水素関連、燃料電池関連) 領域での成長に向け、事業ポートフォリオの変革を目指す

# セグメント別概況

PE

## ■ ポストセールスは安定推移、利益水準は高位安定



- 半導体市場動向を受け、データセンター向け需要は一服感あり
- 次の市場成長期に向け、新製品開発の強化継続
- 今期、高水準の営業利益率を達成する見込み

# FY2023/03 業績予想 (2023年1月31日時点)

※   は過去最高

(億円)	FY2022/03		FY2023/03			
	通期実績	上期実績	下期		通期	
			7月発表 予想	10月・1月 発表予想	7月発表 予想	10月・1月 発表予想
<b>売上高</b>	<b>4,118</b>	<b>2,184</b>	<b>2,450</b>	<b>2,416</b>	<b>4,600</b>	<b>4,600</b>
SPE	3,193	1,765	1,975	1,985	3,750	3,750
GA	433	222	205	188	400	410
FT	332	115	175	165	285	280
PE	133	76	80	74	140	150
その他および調整	25	4	15	6	25	10
<b>営業利益</b>	<b>612</b>	<b>381</b>	<b>400</b>	<b>364</b>	<b>745</b>	<b>745</b>
<b>営業利益率</b>	<b>14.9%</b>	<b>17.5%</b>	<b>16.3%</b>	<b>15.0%</b>	<b>16.2%</b>	<b>16.2%</b>
SPE	628	383	415*	407	790*	790*
GA	16	16	15*	14	25*	30*
FT	5	△10	0*	△10	△10*	△20*
PE	20	15	10*	10	20*	25*
その他および調整	△58	△23	△40*	△57	△80*	△80*
<b>経常利益</b>	<b>594</b>	<b>386</b>	<b>395</b>	<b>344</b>	<b>730</b>	<b>730</b>
<b>親会社株主に帰属する   当期純利益</b>	<b>454</b>	<b>296</b>	<b>240</b>	<b>204</b>	<b>500</b>	<b>500</b>

注) FY2023/03 (通期) 想定為替レート>> 1USD=¥125、1EUR=¥135  
 想定為替感応度 (通期営業利益ベース) >> 対USD: ¥1.4億、対EUR: ¥0.4億

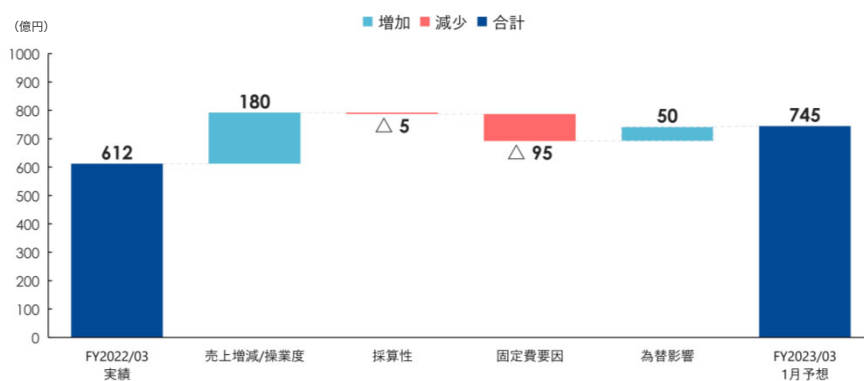
\* セグメント別営業利益予想: 5億円刻みの「約」表記

## ● 全社 (通期)

- ・ 通期予想は、10月発表時から据え置いています  
 売上高 (4,600億円)、営業利益 (745億円)、経常利益 (730億円)、親会社株主に帰属する当期純利益 (500億円) は、過去最高となる見込みです
- ・ 部材不足などのサプライチェーンの混乱、インフレに伴う原材料高騰や足元の円安影響などはありますが、業績予想を達成する見込みです

## 営業利益増減分析

### ■FY2022/03 実績 vs FY2023/03 1月予想



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

- >>売上増減/操業度のほとんどがSPE
- >>採算性のほとんどがFT、SPE
- >>固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、業績連動賞与、研究開発費など）
- >>為替は、SPE、GA、PEに影響

## FY2023/03 業績予想

その他

(億円)	上期実績 (前年同期実績)	3Q累計実績 (前年同期実績)	通期予想 (前年同期実績)
減価償却費	<b>43</b> (47)	<b>64</b> (71)	<b>95</b> (95)
設備投資額 <sup>*1</sup>	<b>89</b> (41)	<b>183</b> (68)	<b>310</b> (134)
研究開発費 <sup>*2</sup>	<b>119</b> (105)	<b>178</b> (165)	<b>290</b> (240)

\*1：SPEの生産・サービス体制強化への投資含む

\*2：HD開発を強化し、LS分野、AI分野、ADPKG分野、エネルギー（水素関連）分野への新製品開発を目指す

### >>配当予想について

・中期経営計画の連結総還元性向30%以上方針に沿って、株主の皆様へ還元（10月予想から変更なし）

(円)	通期
1株当たり配当予想	<b>322</b>

## 最近のグループニュース (Webサイトより抜粋: 2022年10月29日~2023年1月31日)

HD

- 長崎大学とSCREEN、臓器灌流システムの臨床導入を目指した共同研究講座を開設 (2022.11.1)
- 京都府内の児童養護施設8カ所に収穫米を寄付 (2022.11.28)
- 彦根事業所、RBA VAP監査にて ゴールド・ステータスを取得 (2023.1.26)

SPE

- パターン付きウエハー外観検査装置を発売  
~高解像度と高生産性を両立、次世代パワーデバイスの安定生産に貢献~ (2022.11.14)
- 米国・IBM社と、次世代洗浄プロセスの共同開発契約を締結 (2022.11.15)
- 枚葉式洗浄装置「SU-3400」を発売 ~世界最高レベルの生産性と高い処理性能を実現~ (2022.12.7)
- ベルギー・imecと共同開発契約を締結 ~サステナブルな社会の実現に向けた技術開発を加速~ (2022.12.9)
- 半導体製造装置の新工場「S<sup>3</sup>-4 (エス・キューブ フォー)」が完成 (2023.1.30)

FT

- フレキシブルディスプレイ用基板製造に対応した塗布乾燥装置の新製品を発売 (2022.12.20)



## ESG関連の取り組み

### E (環境)

- ベルギー・imecと共同開発契約を締結 ～サステナブルな社会の実現に向けた技術開発を加速 (詳細はP26を参照)
- CDPスコア 気候変動：B (前年・B) 水セキュリティ：A- (前年・A-)

### S (社会)

- 個人サーベイ・エンゲージメントサーベイを実施
  - 従業員各人がビジネスパーソンとしての強みや弱みを把握し、さらなる成長・活躍に繋げるための個人サーベイと、多様な意識や声を聴くためのエンゲージメントサーベイ
- 彦根事業所がRBA※ VAP (Validated Audit Process) 監査にてゴールド・ステータスを取得
- オミクロン株対応・第4回新型コロナワクチン職域接種の実施 (10月下旬～12月中旬、於 本社・彦根)

※ RBA (Responsible Business Alliance) : グローバルサプライチェーン全体で労働者、環境、ビジネスに持続可能な価値を提供する世界最大の業界団体企業同盟

### G (ガバナンス)

- 当社ウェブサイトが、日興アイ・アール株式会社「2022年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」の「総合表彰 優秀サイト」に選定 (前年・優良サイト)



## ベルギー・imecと共同開発契約を締結

～サステナブルな社会の実現に向けた技術開発を加速～ <2022年12月9日>

(株) SCREENセミコンダクターソリューションズは、imec\*1と共同開発契約を更新（共同開発は2002年1月から20年以上にわたり継続）。長期的な視点での半導体コア技術の確立を目指す

- 2023年に枚葉式洗浄装置「SU-3200」を納入し、技術者を派遣するなど、imecと共同評価を行う予定。
- 2022年5月からは、imecが進める半導体業界全体の環境負荷低減に関する新たな研究プログラム「SSTS\*2」にも参画。

\*1 : imec (Interuniversity Microelectronics Centre)  
ベルギーに本部を持つ、ナノエレクトロニクス研究で世界をリードする研究機関。

\*2 : SSTS  
imecが持つインフラ、技術、装置における知見を活用し、確立された信頼性の高いモデルと、カーボンフットプリントの詳細な分析技術を用いて、半導体製造工程が環境に与える影響を予測することにより、半導体バリューチェーン全体の環境負荷低減を支援する取り組み



12月9日にSCREEN本社で行われた調印式の様子

後列左：ベルギー王国フランス政府 首相  
ヤン・ヤンボン氏  
後列右：SCREENホールディングス 会長  
垣内 永次  
前列左：imec プレジデント兼CEO  
ルク・ファンデンホープ氏  
前列右：SCREEN SPE 社長  
後藤 正人

>>当社の専門的知見とimecが有する先端半導体技術との相乗効果により、持続可能な社会に貢献する技術の開発を進める

**■米国・IBM社と、次世代洗浄プロセスの共同開発契約を締結** <2022年11月15日>

(株) SCREENセミコンダクターソリューションズは、IBM社と次世代デバイスにおける洗浄プロセス開発を目指す共同開発契約を締結。数年先のニーズを見据え、デバイスインテグレーションの課題解決や歩留り向上などの技術開発を加速

- 今後微細化・積層化・チップレット化の進展によって高度な洗浄プロセスの必要性が高まると同時に、EUV露光装置の導入により、歩留まり向上を目的としたウエハー裏面洗浄やベベル洗浄などの洗浄工程も増加。またサステナビリティの観点から、装置稼働時における省エネルギー化、化学薬品の使用量や廃液物の削減、半導体の製造工程における歩留り向上の取り組みが重要となる
- IBM社との共同開発によって、先端半導体製造における洗浄工程の課題をいち早く取り入れ、当社の洗浄プロセス技術および装置の開発にフィードバックする

>>洗浄プロセスのリーディングカンパニーとして、将来を見据えた洗浄技術の開発を強力に推進

## ■パターン付きウエハー外観検査装置を発売

～高解像度と高生産性を両立、次世代パワーデバイスの安定生産に貢献～ <2022年11月14日>

- 次世代パワーデバイスやCIS※1、MEMSなどのパターン検査に対応するウエハー外観検査装置「ZI-3600」を開発
- 独自開発の検査ヘッドと改良した高速画像処理エンジンにより、従来比約2倍※2の実用処理能力を実現
- 解像度の異なる3種類の対物レンズを1つのヘッドに搭載。レンズを最適な解像度に自動で切り替えることにより、微細欠陥からマクロ欠陥まで幅広い検査を1台で対応

※1 CMOSイメージセンサー：CMOSセンサー技術を使用した低消費電力のイメージセンサー  
※2 「ZI-3500」との比較。パターン付き300mmウエハーを全面検査した場合



ZI-3600

詳細は[こちら](#)（公式WEBページへ）

>>カーボンニュートラルの実現に向け、高まる次世代パワーデバイスの需要に対応

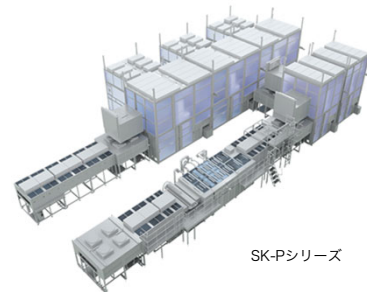
## フレキシブルディスプレイ用基板製造に対応した塗布乾燥装置の新製品を発売

～「SK-P1501G」「SK-P2200G」を新たにラインアップ～ <2022年12月20日>

- フレキシブルディスプレイ用基板形成工程用塗布乾燥装置2機種を開発し、「Eシリーズ※1」のラインアップに追加
- 従来の厚膜に加え、5 $\mu$ mの薄膜形成※2を実現し、多様化するフレキシブルディスプレイの基板厚の要求に対応
- SK-P2200Gは業界最速クラスのラインタクト120秒以下の高速処理を実現。フレキシブル有機ELディスプレイの大型化と生産性向上に寄与

※1 「Eシリーズ」は、有機ELディスプレイ製造工程において歩留まり向上を実現する、業界トップクラスの高生産性を備えた製造装置群。量産装置として多数の導入実績を誇る。

※2 乾燥時膜厚、所定の条件で保証



SK-Pシリーズ

詳細は[こちら](#)（公式WEBページへ）

>>フレキシブルディスプレイはIT機器や車載向けディスプレイへの採用など、その形態も多様化が進む  
>>今後も「Eシリーズ」のラインアップを拡充し、高精細・高付加価値ディスプレイの生産に貢献

**彦根事業所がRBA VAP監査にてゴールド・ステータスを取得** <2023年1月26日>

(株) SCREENセミコンダクターソリューションズは、彦根事業所（多賀事業所を含む）を対象に実施した、RBA※のVAP監査でゴールド・ステータスを取得しました

- 2022年11月、RBA認証機関によるValidated Audit Process (VAP) 監査を受審
- 監査項目である労働、安全衛生、環境、倫理、マネジメントシステムにおいて適正な管理が認められ、RBA認証プログラムのゴールド・ステータスを取得

※ RBA : Responsible Business Alliance  
グローバルサプライチェーン全体で労働者、環境、ビジネスに持続可能な価値を提供する世界最大の業界団体企業同盟。グローバルサプライチェーンにおいて、RBA行動規範に則り、人道的で健全な経営が正しく行われているかを第三者監査機関が評価する仕組みを持つ



>>企業としての社会的責任を全うするとともに、事業活動を通じて環境・社会課題の解決に積極的に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献する

## Appendix&gt;&gt; セグメント別業績

SPE

## 前年同期比

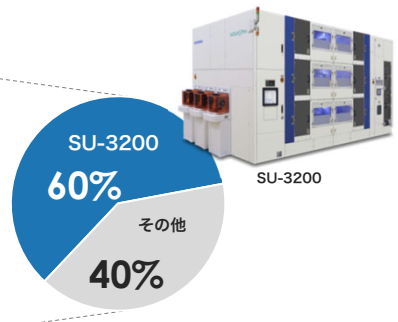
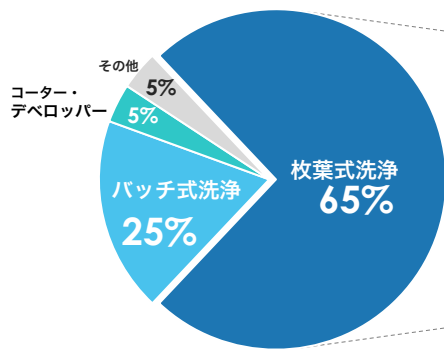
	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	3Q累計	3Q累計		
(億円)				
売上高	2,261	2,706	445	19.7%
営業利益 営業利益率	414 18.3%	557 20.6%	143	34.7% 2.3pt

## 前四半期比

	FY2023/03	FY2023/03	増減	
	2Q	3Q		
(億円)				
売上高	919	941	22	2.4%
営業利益 営業利益率	195 21.3%	173 18.5%	△21	△11.1% △2.8pt

# Appendix>> 単独・売上高比率

## 製品別売上高比率 - FY2023/03 3Q累計



(%)	FY2020/03 通期	FY2021/03 通期	FY2022/03 通期	FY2023/03 3Q累計
枚葉	65	70	70	<b>65</b>
バッチ	25	25	25	<b>25</b>
コーデベ	5	5	5	<b>5</b>
その他	5	0	0	<b>5</b>

※上記比率は、5%刻みの「約」表記



## Appendix>> セグメント別業績

GA

### 前年同期比

	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	3Q累計	3Q累計		
(億円)				
売上高	309	342	33	10.8%
営業利益 営業利益率	11 3.6%	27 7.9%	16	145.9% 4.3pt

### 前四半期比

	FY2023/03	FY2023/03	増減	
	2Q	3Q		
(億円)				
売上高	116	120	3	3.1%
営業利益 営業利益率	9 8.2%	10 9.0%	1	14.1% 0.9pt

## Appendix>> セグメント別業績

FT

前年同期比	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	(億円)	3Q累計		
売上高	231	171	△59	△25.8%
営業利益 営業利益率	△1 △0.6%	△11 △6.6%	△9	- △6.0pt

前四半期比	FY2023/03	FY2023/03	増減	
	(億円)	2Q		
売上高	84	56	△28	△33.8%
営業利益 営業利益率	△2 △3.1%	△0 △0.8%	2	- 2.2pt

## Appendix>> セグメント別業績

PE

### 前年同期比

	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	3Q累計	3Q累計		
(億円)				
売上高	92	<b>123</b>	<b>31</b>	<b>34.2%</b>
営業利益 営業利益率	15 16.8%	<b>25</b> 20.9%	<b>10</b>	<b>67.6%</b> 4.1pt

### 前四半期比

	FY2023/03	FY2023/03	増減	
	2Q	3Q		
(億円)				
売上高	42	<b>47</b>	<b>5</b>	<b>11.9%</b>
営業利益 営業利益率	11 26.2%	<b>10</b> 21.1%	<b>△1</b>	<b>△10.1%</b> △5.2pt

## Appendix>> 主要数値の変遷

(億円)	FY2018/03	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03 予想
売上高	3,393	3,642	3,232	3,203	4,118	<b>4,600</b>
営業利益	427	296	125	244	612	<b>745</b>
営業利益率 (%)	12.6	8.1	3.9	7.6	14.9	<b>16.2</b>
総資産	3,658	3,809	3,479	3,826	4,593	-
自己資本	1,708	1,791	1,739	2,083	2,477	-
自己資本比率 (%)	46.7	47.0	50.0	54.5	53.9	-
ROE (%)	18.2	10.3	2.8	7.9	19.9	-
減価償却費	57	68	88	96	95	<b>95</b>
設備投資額	144	240	79	78	134	<b>310</b>
研究開発費	208	228	215	215	240	<b>290</b>
EPS (円)	608.62	387.10	107.37	325.21	976.55	<b>1,057.84</b>
期末配当 (円)	110	97	30	90	293	<b>322</b>

## 彦根事業所新工場「S<sup>3</sup>-4」アナリスト向け見学会 開催のお知らせ

■場 所 : 弊社彦根事業所（滋賀県彦根市高宮町）

■日 程 : 3月17日(金) 11:00~13:30 頃  
(S<sup>3</sup>-4内部見学、プレゼン、質疑応答、ご昼食含む)

■募集人数 : 20名程度

- コロナウイルス感染防止、および工場側の受け入れ態勢を勘案し、少人数での企画  
(参加人数に限られますため、セルサイドのアナリスト様にのみ、事前ご案内しました)
- 当日ご参加いただけないアナリスト・機関投資家様に向けて、同時オンライン中継などを検討しております。準備が整い次第、ご案内させていただきます。



**Innovation for a Sustainable World**